

平成21年3月期 第3四半期決算短信

平成21年1月30日

上場会社名 石井食品株式会社
 コード番号 2894 URL <http://www.ishiifood.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 浅井 誠一
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員財務戦略部総括MGR (氏名) 植草 豊彦
 四半期報告書提出予定日 平成21年2月13日

上場取引所 東

TEL 047-459-9061

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第3四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第3四半期	9,804	—	266	—	301	—	176	—
20年3月期第3四半期	9,611	△5.4	121	△63.8	138	△62.0	18	△90.0

	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	
	円	銭	円	銭
21年3月期第3四半期	9.61	—	—	—
20年3月期第3四半期	1.02	—	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
21年3月期第3四半期	12,438	—	7,031	—	56.5	—	382.87	—
20年3月期	11,368	—	7,003	—	61.6	—	381.31	—

(参考) 自己資本 21年3月期第3四半期 7,031百万円 20年3月期 7,003百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
20年3月期	—	—	—	5.50	5.50
21年3月期	—	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	5.50	5.50

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円
通期	12,700	2.6	200	502.1	240	371.8	120	—	6.53

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 — 社(社名)) 除外 — 社(社名))

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】 4.その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 有
 ② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第3四半期 18,392,000株 20年3月期 18,392,000株
 ② 期末自己株式数 21年3月期第3四半期 27,549株 20年3月期 25,714株
 ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第3四半期 18,365,368株 20年3月期第3四半期 18,369,419株

※ 業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果になる可能性があります。

※ 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

・ 定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

世界金融市場の混乱の発生が、国内における雇用不安までも拡大し、一般家庭における消費意欲の減退、さらに節約志向が高まり一段と価値評価が厳しいものとなっております。

そのような中で当社グループといたしましては、消費者との信頼関係をより一層深めるためには、特に、加工食品メーカーとして使用している原材料の管理内容を含め開示することが必要であると考えております。現在実行していることは工場見学の強化、大都市圏での展示会の開催、或いは店頭で原材料をお見せし試食していただく活動を重点的に行っております。その中で、製造工場周辺の住民の皆様を対象にした工場見学会を各地で実施いたしました他、年末商品であるお正月料理につきましても原材料の徹底した履歴管理の実施、アレルギー検査の実施により、お客様にとって安心して購入していただけるような商品作りを行ってまいりました。

このような活動を行ってまいりました結果、当第3四半期累計期間の売上高は98億4百万円（前年同四半期比1億93百万円増）となり、売上原価におきましては、原油や穀物などの高騰により原材料費が増加いたしました。品質の向上を目的としたロスの防止からの費用削減に努めました結果、営業利益は2億66百万円（前年同四半期比1億44百万円増）となりました。これにより経常利益は3億1百万円（前年同四半期比1億63百万円増）となり、これに法人税等充当額の処理を行った結果、第3四半期純利益は1億76百万円（前年同四半期比1億57百万円増）となりました。

※当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。従いまして、当第3四半期連結累計期間の連結損益計算書と前年同四半期連結累計期間の連結損益計算書とでは作成基準が異なるため、前年同四半期比較に関する情報は参考として記載しております。

製品別売上高

(単位：千円未満切り捨て)

製品別	当第3四半期連結累計期間 (20.4.1~20.12.31)	
	金額	構成比
		%
食肉加工品	8,001,990	79.7
冷凍食品	62,803	0.6
中華調味料	105,930	1.1
正月料理	1,180,944	11.8
そう菜	436,636	4.3
その他	253,972	2.5
合計	10,042,279	100.0

(注) 上記は売上割戻控除前の金額であります。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期末における資産総額は前連結会計年度末の113億68百万円に対し、10億69百万円増加の124億38百万円となりました。また負債総額は前連結会計年度末の43億65百万円に対し、10億41百万円増加の54億6百万円、純資産総額は前連結会計年度末の70億3百万円に対し、27百万円増加の70億31百万円となり、この結果、自己資本比率は56.5%となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは5億33百万円の増加となりました。主な要因としては税金等調整前四半期利益の改善、減価償却費の計上となります。投資活動によるキャッシュ・フローは32百万円の減少となりました。主な要因としては有形固定資産の取得によるものです。財務活動によるキャッシュ・フローは1億52百万円の減少となりました。主な要因としては配当金の支払い、借入金の返済によるものです。これらにより、現金及び現金同等物の当第3四半期末残高は、前連結会計年度末に比べ3億48百万円増加の32億54百万円となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当第3四半期業績結果は、平成20年5月9日に開示いたしました当期業績予想に対し、堅調に推移しており、通期の業績予想に変更はございません。

今後の活動といたしましては、当社グループの食品の安全に対する取組みを広く認識していただくためにお客様が直接生産現場を評価していただけますよう、7月より実施している工場見学をより充実させてまいります。

また、原材料履歴におきましてもさらに詳しくお客様にお答えできよう取組みを強化してまいります。このような活動を通じてお客様からの信頼を深めてまいりたい所存です。

支出面におきましては、お金の使用目的を明確にし、そこから三方得になるよう、ロス管理、時間管理を徹底しお取引先様との共創を図ってまいります。

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
該当事項はありません。
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
 - ①一般債権の貸倒見積高の算定方法
当第3四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しています。
 - ②固定資産の減価償却費の算定方法
定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。
 - ③経過勘定項目の算定方法
合理的な算定方法による概算額で計上する方法によっております。
 - ④繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法
繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一次差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。
 - ⑤税金費用の計算
当社及び一部の連結子会社については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果適用後の実行税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更
 - ①当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。
 - ②当連結会計年度より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号)を適用し、評価基準については、原価法から原価法(収益性の低下による簿価の切り下げの方法)に変更しております。なお、従来の方法によった場合に比べて、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

5 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,567,071	2,916,304
受取手形及び売掛金	2,704,858	1,462,874
商品	2,942	3,845
製品	21,706	20,125
半製品	31,803	33,536
原材料	250,309	212,372
仕掛品	45	73
貸倒引当金	△3,107	△3,648
その他	99,350	104,788
流動資産合計	6,674,981	4,750,272
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,063,198	2,249,404
機械装置及び運搬具（純額）	1,502,500	1,775,594
土地	1,143,099	1,143,099
工具、器具及び備品（純額）	54,956	65,218
有形固定資産合計	4,763,755	5,233,316
無形固定資産	59,633	68,273
投資その他の資産	939,814	1,316,793
固定資産合計	5,763,204	6,618,384
資産合計	12,438,185	11,368,656
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	973,435	327,084
短期借入金	2,130,000	2,130,000
1年内返済予定の長期借入金	50,670	67,560
未払法人税等	108,825	47,118
賞与引当金	72,541	87,126
その他	998,354	582,444
流動負債合計	4,333,826	3,241,333
固定負債		
長期借入金	297,670	331,450
繰延税金負債	—	17,250
退職給付引当金	570,467	564,165
長期未払金	204,989	211,178
固定負債合計	1,073,126	1,124,045
負債合計	5,406,953	4,365,378

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	919,600	919,600
資本剰余金	672,801	672,801
利益剰余金	5,460,543	5,385,015
自己株式	△6,944	△6,508
株主資本合計	7,046,000	6,970,908
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△14,768	32,369
評価・換算差額等合計	△14,768	32,369
純資産合計	7,031,231	7,003,277
負債純資産合計	12,438,185	11,368,656

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)
売上高	9,804,914
売上原価	6,061,159
売上総利益	3,743,755
販売費及び一般管理費	
給料及び手当	552,838
販売手数料	240,388
運搬費	1,042,700
販売促進費	380,024
その他	1,261,111
販売費及び一般管理費合計	3,477,063
営業利益	266,691
営業外収益	
受取利息	5,203
受取配当金	8,927
雑収入	8,970
その他	45,559
営業外収益合計	68,662
営業外費用	
支払利息	31,826
その他	1,758
営業外費用合計	33,584
経常利益	301,769
特別利益	
貸倒引当金戻入額	1,152
投資有価証券売却益	256
投資有価証券償還益	5,940
特別利益合計	7,349
特別損失	
投資有価証券評価損	1,282
固定資産処分損	1,144
特別損失合計	2,427
税金等調整前四半期純利益	306,691
法人税等	130,148
四半期純利益	176,542

【第3四半期連結会計期間】

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)
売上高	3,812,492
売上原価	2,335,461
売上総利益	1,477,031
販売費及び一般管理費	
給料及び手当	180,923
販売手数料	83,847
運搬費	355,842
販売促進費	128,899
その他	424,561
販売費及び一般管理費合計	1,174,073
営業利益	302,958
営業外収益	
受取利息	1,358
受取配当金	3,134
雑収入	5,169
その他	8,682
営業外収益合計	18,345
営業外費用	
支払利息	10,521
その他	855
営業外費用合計	11,376
経常利益	309,926
特別利益	
貸倒引当金戻入額	△833
投資有価証券償還益	5,940
特別利益合計	5,106
特別損失	
投資有価証券評価損	574
固定資産処分損	928
特別損失合計	1,503
税金等調整前四半期純利益	313,529
法人税等	102,033
四半期純利益	211,495

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

当第3四半期連結累計期間
(自平成20年4月1日
至平成20年12月31日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	306,691
減価償却費	534,796
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△14,585
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	6,302
長期未払金の増減額 (△は減少)	△6,189
受取利息及び受取配当金	△16,647
支払利息	31,826
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,241,984
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△36,707
仕入債務の増減額 (△は減少)	646,350
未払法人税等 (外形標準課税) の増減額 (△は減少)	△2,290
未払消費税等の増減額 (△は減少)	47,609
その他	359,854
小計	615,024
利息及び配当金の受取額	15,804
利息の支払額	△31,220
法人税等の支払額	△66,200
営業活動によるキャッシュ・フロー	533,407
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△42,306
投資有価証券の取得による支出	△1,724
その他	11,478
投資活動によるキャッシュ・フロー	△32,551
財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期借入金の返済による支出	△50,670
自己株式の取得による支出	△436
配当金の支払額	△101,014
財務活動によるキャッシュ・フロー	△152,120
現金及び現金同等物に係る換算差額	32
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	348,766
現金及び現金同等物の期首残高	2,905,304
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,254,071

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第3四半期連結会計期間(自 平成20年10月1日 至 平成20年12月31日)
該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第3四半期連結会計期間(自 平成20年10月1日 至 平成20年12月31日)
該当事項はありません。

「参考」

(1) (要約)前四半期連結損益計算書

(単位：千円)

科 目	前第3四半期連結会計期間 自平成19年4月1日 至平成19年12月31日	
	金 額	百分比
		%
I 売上高	9,611,122	100.0
II 売上原価	5,967,396	62.1
売上総利益	3,643,726	37.9
III 販売費及び一般管理費	3,521,899	36.6
営業利益	121,827	1.3
IV 営業外収益	56,942	0.5
V 営業外費用	40,540	0.4
経常利益	138,229	1.4
VI 特別利益	8,551	0.1
VII 特別損失	81,570	0.8
税金等調整前四半期(当期)純利益	65,211	0.7
法人税、住民税及び事業税	39,719	0.4
法人税等調整額	6,677	0.1
四半期純利益	18,814	0.2

(2) (要約)前四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

科 目	前第3四半期連結会計期間 自平成19年4月1日 至平成19年12月31日	
	金 額	
I 営業活動によるキャッシュ・フロー		
1 税金等調整前四半期純利益		65,211
2 減価償却費		603,714
3 受取利息及び受取配当金		△ 12,502
4 支払利息		31,172
5 売上債権の増減額(増加は△)		△ 949,043
6 仕入債務の増減額(減少は△)		458,225
7 たな卸資産の増減額(増加は△)		△ 19,731
8 その他		223,641
小計		400,686
9 利息及び配当金の受取額		13,781
10 利息の支払額		△ 31,461
11 法人税等の支払額		△ 101,278
営業活動によるキャッシュ・フロー		281,727
II 投資活動によるキャッシュ・フロー		
1 有形固定資産の取得による支出		△ 565,630
2 無形固定資産の取得による支出		△ 25,258
3 その他		△ 36,802
投資活動によるキャッシュ・フロー		△ 627,691
III 財務活動によるキャッシュ・フロー		
1 長期借入金の返済による支出		△ 50,670
2 配当金の支払額		△ 101,040
3 その他		△ 951
財務活動によるキャッシュ・フロー		△ 152,662
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額		△ 84
V 現金及び現金同等物の増減額(減少は△)		△ 498,711
VI 現金及び現金同等物期首残高		3,227,414
VII 現金及び現金同等物四半期末残高		2,728,703